

第24回日本時間生物学会学術大会のお知らせ

第24回日本時間生物学会学術大会を2017年10月28日から29日の2日間、京都大学百周年時計台記念館および理学研究科で開催いたします。本大会は、京都大学野生動物研究センターの共催を得て「多様性と共鳴」というテーマを設定いたしました。多様な学問分野から多様な研究者のみなさまにお集まりいただいて、その中から共鳴するものが得られればと期待しています。

特別講演には世界を代表するゴリラの研究者で京都大学総長の山極壽一さんと渡り鳥の概年リズムの研究で著名なグラスゴー大学のBarbara Helmさんをお招きし、さらに共催団体である京都大学野生動物研究センター長の幸島司郎さんにはイルカの眠りの話題を提供していただきます。

また前日の10月27日には、関連集会として時間生物学トレーニングコース（企画：遠藤求）を開催いたします。

みなさまのご参加を心待ちにしております。

第24回日本時間生物学会学術大会
大会長 沼田英治
(京都大学大学院理学研究科)

【大会概要】

会期：2017年10月28日（土）～29日（日）

会場：京都大学百周年時計台記念館および理学研究科

大会ホームページ：<http://www.24jsc.bot.kyoto-u.ac.jp>

参加登録・演題申し込み：5月下旬よりホームページで登録受付開始予定

【プログラム】

28日（土）

特別講演

山極壽一（京都大学総長）

Barbara Helm（University of Glasgow）

幸島司郎（京都大学野生動物研究センター）

ポスター発表データブリッツ

ポスター発表

懇親会

29日（日）

シンポジウム1：温度情報と時刻情報のモレキュラーインターフェイス（濱田文香・富永真琴）

シンポジウム2：睡眠覚醒の制御調整因子と予測モデル（角谷寛・肥田昌子）

シンポジウム3：生物の多様な階層における日周期的相互作用（伊藤照悟・青木撰之）

シンポジウム4：生体リズムの機能的広がり（清水貴美子・中村渉）

シンポジウム5：24時間の創出原理（秋山修志・八木田和弘）

シンポジウム6：時間生物学からみたシフトワークの適応と戦略（若村智子・樋口重和）

総会・奨励賞授賞式・受賞講演

優秀発表授賞式

【関連集会】

時間生物学トレーニングコース

日 時：2017年10月27日（金）

場 所：京都大学理学研究科セミナーハウス

参加資格：時間生物学会会員または入会予定者（検討中を含む）

参加費：無料